

## 令和5年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生生活活動支援事業活動報告書

|        |                         |  |
|--------|-------------------------|--|
| 団体等名   | ついたち会                   |  |
| 代表学生   | 所属大学名・学部・学年             | 長野県立大学 グローバルマネジメント学部 4年  |
|        | ふりがな<br>氏名              | 長谷川 真希   |
| 教職員責任者 | 所属大学名・職名・<br>ふりがな<br>氏名 | 長野県立大学 教授、企(起)業家コース コース長<br>長野県立大学大学院ソーシャル・イノベーション研究科 研究科<br>長 |

|      |  |
|------|--|
| 活動名  | ついたち会  |
| 実施時期 | 2021年10月～現在<br>対象期間 2023年9月 2023年12月   |
| 実施場所 | ODDO coffee (長野市南長野南石堂町 1423-5)  |
| 活動内容 | <p>実施日時：毎月1日 19:00—21:00<br/> 参加方法：招待制（一度参加したことある人は招待券を得ることができる）<br/> 参加費：なし<br/> 活動経費：会場費<br/> →今回、主に支援金をこちらの会場費に当てさせていただきました。</p> <p>内容：毎月1日に同じ場所で交流会を行っている。場所は長野駅善光寺口から善光寺方面に3分ほど歩いた場所であり、店主が県立大学 GM 学部の卒業生であることから、活動当初から場所をお借りしている。</p> <p>会の内容としては、毎回イベントは2時間で行っており、最初の1時間で参加者の自己紹介をし、近況や最近感じたこと、取り組んでいることについて簡単に話す。その後、その会話の中で出てきたトピックについてそこにいる人で考え対話を行う。</p> <p>毎回参加するメンバーは決まっておらず、毎月参加している人もいれば初めて参加の人もいたり、久しぶりに参加するメンバーも入り混じって会話を進めている。</p> <p>県立大学内やその周辺で起業をしている学生や、地域をフィールドに活動している学生が年々増加し、何かやりたいと考えている人のロールモデルが多く存在している。その一方で誰かに相談したいときにどこに相談に行けば良いのかを迷ってしまうという現状が挙げられる。何か取り組もうとしている人と何かに取り組んでいる人、それを応援したいと思っている人がお互いに引き寄せあって集まるコミュニティを作り、個々で集まっている人が定期的に束になる機会を設けようと考えた。</p> <p>会の最後にはイベント紹介タイムが存在し、その場にいる人が「今月自分が参加するイベント、参加しようと思っているイベント」や「魅力的だと思っているイベント」などを幅広く紹介する時間がある。そこには、この会だけでの出会いで終わるのではなく次につながる機会を提供したいという考えがある。</p> <p>コミュニティの案内方法としては参加者に招待カードを私、自分がついたち会に招待したい人、または何かをやりたいけどどう始めたら誰とつながったらよいか迷っている人に招待カードを渡してもらう。また、学生だけでなく県立大学の教授や信頼できる他大学の教授や、市のまちづくり担当の方に配布してもらっている。</p> |



※こちらが実際に参加者に配布しているカード。サイズは名刺サイズの高さの正方形

### 【活動成果】

このイベントを続けることにより増えた出会いや発生したイベント、より学生がまちな出れるようになったと実感することが多いことから、この場をより長く続けていく必要があると考える。そのため、今回の補助金ではこちらの運営費を補助していただきました。

この活動を今年も続けられることになり、同じ場所で活動を初めて3年目となり多くの人に場所とイベントが定着してきていると実感した。

実際の成果としては

- ・この場で紹介された小布施町で行われた学生向け就活イベントに興味を持った1年生がイベントに参加することになった
- ・今まで知らない人や苦手な人と自分の話をするのが苦手だった学生がこの場をきっかけに自分の人との関わり方を見直ししたり、挑戦するきっかけの場となった。
- ・“一人暮らしをすること”が自分と向き合ったり、新しい自分の一面を知ることだと思っていた一年生が、その話をテーマに出すと、シェアハウスを実際に現在している人と、過去にしていた人とこの話をテーマに話すことにより、“人といることによって見える自分の一面もある”という気づきを得ることができた
- ・相手に「成長したね」と言われたことに違和感を感じた学生から“そもそも成長ってなんだろう”というテーマが挙げられた。成長は良いものなのか、相手からの指標にすぎないのか、自分でわかることなのか、そこからが成長なのかについて、それぞれの経験をもとに世代を超えて対話をした。

活動の成果  
と今後の課題

このように目に見えてイベントをおこなったり、参加者から数値的に指標を取ったりをすることはできていない。だが、学生生活で環境が変わり、多くの大人に囲まれたりこれからの自分の将来を考える中で感じる葛藤やちょっとした悩みや違和感をみんなで考え、いろんな言葉や意見を吸収するという場を提供している。



|  |  |
|--|--|
|  | <p><b>【今後の課題】</b></p> <p>〈運営体制の整備〉</p> <p>会は毎回同じところで行っているが、運営の体制がしっかりと整っていないことから発生するイベントの告知や集客の不安定化が発生している。運営しているのが学生ということもあり、大学の予定やアルバイト、インターンなどの予定から、ついたち会にフルコミットできる人が少なくなっている。これについて、現在運営をになっている人と一年が始まる前にしっかりと話し合いを行い事前に役割分担と担当の月を決めるなどし、安定的にこの場を開催できるようにしていきたい。</p> <p>〈組織内資金の自立化〉</p> <p>今後もこの活動を続けていく上では組織内で資金を自立化していく必要がある。そのため、ついたち会ファンクラブを立ち上げ、会場費を賄えるようにしていきたいと考えている。そこで集まって資金はついたち会の会場費だけでなく、ついたち会の特別会の会場費や、ついたち会の参加者が市外のイベントに参加する際の支援金（交通費など）として利用できるようにしていきたい。</p> |
|--|--|

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。活動内容だけでなく、活動団体のPRを行うことができる動画を添付することも可能です。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。

※本様式のほか、活動内容や成果についての報告動画を併せて作成して提出してください。